看護婦における疲労とうっかりミス: 仕事へのコミットメントの影響

○岩崎祥一 (福島医科大学・医学部心理学)

Fatigue and Accident Proneness in Nurse: Effect of Work Motivation.

Syoichi Iwasaki (Fukushima Medical University)

1. はじめに

看護や医療に関わる職業は、24 時間常に対応を迫られており、その性質上、交替制勤務を避けられない。そうした交替制勤務に加えて人員の不足もあり、看護の現場はストレスや疲労がたまりがちである。こうしたストレスや疲労は、健康にとって有害な影響を与えることは広く知られているが、それだけでなく、医療事故につながりかねないうっかりミスを誘発することも欧米の研究では指摘されている。そうした疲労とうっかりミスとの関係について、看護婦を対象に調査を行ったので報告したい。

2. 方法

疲労とうっかりミスとの関係を調べる目的で、これまでの我々の調査で用いてきた動機づけ（ここでは、仕事に対するコミットメントを意味する）と疲労に関する質問項目に、今回、イギリスの Broadbent らが開発したうっかりミス傾向を測る質問項目（表 1, Cognitive Failure Questionnaire: CFQ と略）を加えた自記式アンケートを作成し、これを福島県立医科大学に勤務する 435 名の看護婦に実施した。そのうち、有効データは、393 名 (90.3%) から得られた。

3. 結果

1. 全体として疲労の程度と CFQ の得点の間には有意な正の相関($r = .318, p < .01$)が得られた。
2. 動機づけ得点の中央値により全体を 2 群

に分け、それぞれについて疲労の程度と CFQ 得点との相関を求めたところ、低動機づけ群($r = .416, p < 0.01$, 図 1)は、高動機づけ群($r = .178, p < 0.05$, 図 2)に比べ高い相関係数を示した。

3. 全体で約 18%の人がうっかりミスの自由記述欄に何らかのミスの体験を記入していた。そのうち、医療現場でのミスが 44 件 - 全件数の 55% - (同一人の複数回答は、別々に集計) あり、残りは通勤途上及び家庭でのミスであった。医療現場でのうっかりミスには、薬や患者の取り違えのように重大事故につながりかねないものもみられた。動機づけによる違いとしては、高動機づけ群では、記入のある人は、ない人に比べ、有意に CFQ 得点が高かった。低動機づけ群ではそうした有意差は見られなかった。

表1. CFQの質問項目

1. 何かを読んでいて、そのことに集中できず、もう一度読み直さなければいけなかったことがありましたか？
2. うちの中で、別の部屋になぜ行ったのか思い出せないことがありましたか？
3. 交通標識を見落としたことがありましたか？
4. 道を教えようとして左右どちらだか分からなくなったことがありましたか？
5. 歩行時 他の人にぶつかったことがありましたか？
6. 明かりや火を消したかどうか、あるいは戸を開めたかどうか思い出せなかったことがありま

したか？

7. 初対面で名前を言われてもそれを聞き漏らした
ことがありましたか？
8. 何かを言ってしまって、それを相手が失礼だと
受け取ったかもしれないと後になって気がつ
いたことがありましたか？
9. 他のことをやっていたため、人が話しかけても
聞き取れなかったことがありましたか？
10. 怒りを押えられずに後で後悔したことがあり
ましたか？
11. 重要な手紙の返事を何日も出さないままにし
ていたことがありましたか？
12. 知ってはいてもあまり通らない道でどちらに
曲がったらいいか分からなくなったことがあ
りましたか？
13. スーパーで、欲しいものがあつたにもかかわ
らず買い忘れたことがありましたか？
14. 言葉を正しくつかったかどうか気になったこ
とがありましたか？
15. ものごとを決断するのが難しいですか？
16. 約束を忘れたことがありましたか？
17. 何か（例えば新聞や本）をどこに置いた分か
らなくなったことがありましたか？
18. マッチ箱を捨てて燃えかすのマッチをしまう
というように、捨てるものをとっておき、逆
に取っておくべきものを捨てたことがありま
したか？
19. 何かを聞かなければならないときに別のこと
を考えていたことがありましたか？
20. 人の名前を思い出せないことがありましたか？
21. 何か一つのことを始めたのに、忘れて途中で
別のことをやり始めたことがありましたか？
22. 喉元まで出かかっているのにどうしても思い
出せないことがありましたか？
23. お店で何を買いにきたのか思い出せないこと
がりましたか？
24. 最近6ヶ月以内に何か物をなくしましたか？
25. (何か言おうとして) 何も言うことが思いつか
ないという経験をしましたか？

図1: 低動機づけ群の疲労とCFQ得点との相関

図2: 高動機づけ群の疲労とCFQ得点との相関

4. 考察

この結果は、疲労がうっかりミスの増加を招くこと、動機づけの高低により疲労のうっかりミスに対する影響の出方に違いがあること、また、動機づけの高い人は、正直に自己のミスやひやりハッと体験について報告する傾向があることを示している。